

Technology to Inspire Innovation

**2018年度第3四半期
(2018年10月~12月)
決算補足資料**

2019年1月28日

6807 日本航空電子工業株式会社

億円	2017年度3Q 累計 (17/4~12)	2018年度3Q 累計 (18/4~12)	前年同期比 3Q累計	
売上高	1,922	1,784	-138	93%
営業利益	162	155	-7	96%
売上高比	8.4%	8.7%		
経常利益	150	163	12	108%
売上高比	7.8%	9.1%		
純利益	110	118	9	108%
売上高比	5.7%	6.6%		

為替レート (円/US\$)	111.7	111.1	(期中平均)
-------------------	-------	-------	--------

2017年度3Q (17/10~12)	2018年度3Q (18/10~12)	前年同期比 3Q比較	
677	604	-73	89%
67	61	-6	91%
9.9%	10.1%		
66	57	-9	86%
9.7%	9.4%		
48	41	-6	87%
7.0%	6.8%		

113.0	112.9	(期中平均)
-------	-------	--------

億円	2017年度3Q 累計 (17/4~12)	2018年度3Q 累計 (18/4~12)
携帯機器	1,077	886
自動車	512	557
産機・インフラ	236	252
その他	97	88
計	1,922	1,784

対前年同期
3Q累計

-191 82%
45 109%
16 107%
-9 91%
-138 93%

2017年度3Q (17/10~12)	2018年度3Q (18/10~12)
385	304
181	188
82	81
29	31
677	604

対前年同期
3Q比較

-81 79%
7 104%
-1 99%
2 107%
-73 89%

国内	473	498
海外	1,449	1,286

25 105%
-163 89%

165	166
512	438

1 101%
-74 86%

億円	2017年度3Q 累計 (17/4~12)	2018年度3Q 累計 (18/4~12)
コネクタ	1,769	1,603
UIS	64	63
航機	83	111
その他	6	7
計	1,922	1,784

対前年同期
3Q比較

-166 91%

-1 98%

28 134%

0 105%

-138 93%

2017年度3Q (17/10~12)	2018年度3Q (18/10~12)	対前年同期 3Q比較
627	541	-86 86%
22	20	-3 88%
26	41	16 160%
2	2	-0 96%
677	604	-73 89%

事業部門別営業利益

億円	2017年度3Q 累計 (17/10~12)	2018年度3Q 累計 (18/10~12)
コネクタ	186	171
売上高比	10.5%	10.6%
UIS	6	4
売上高比	9.7%	6.5%
航機	1	13
売上高比	1.3%	11.6%
配賦不能 他	-32	-33
計	162	155
	8.4%	8.7%

対前年同期

3Q累計

-16

-2

12

-1

-7

2017年度3Q (17/10~12)	2018年度3Q (18/10~12)
75	65
11.9%	12.0%
2	1
10.9%	3.2%
0	6
0.7%	14.5%
-10	-10
67	61
9.9%	10.1%

対前年同期

3Q比較

-10

-2

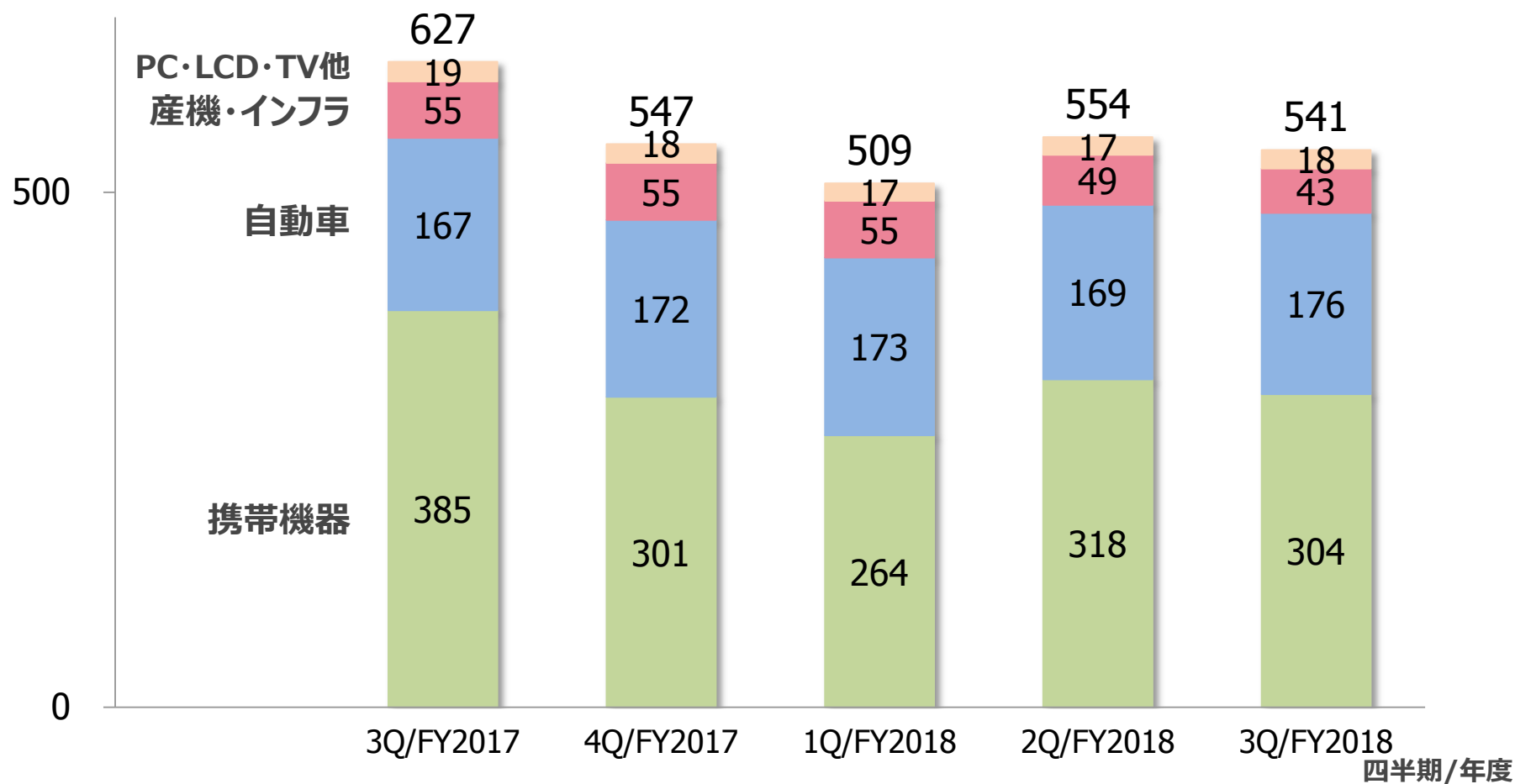
6

0

-6

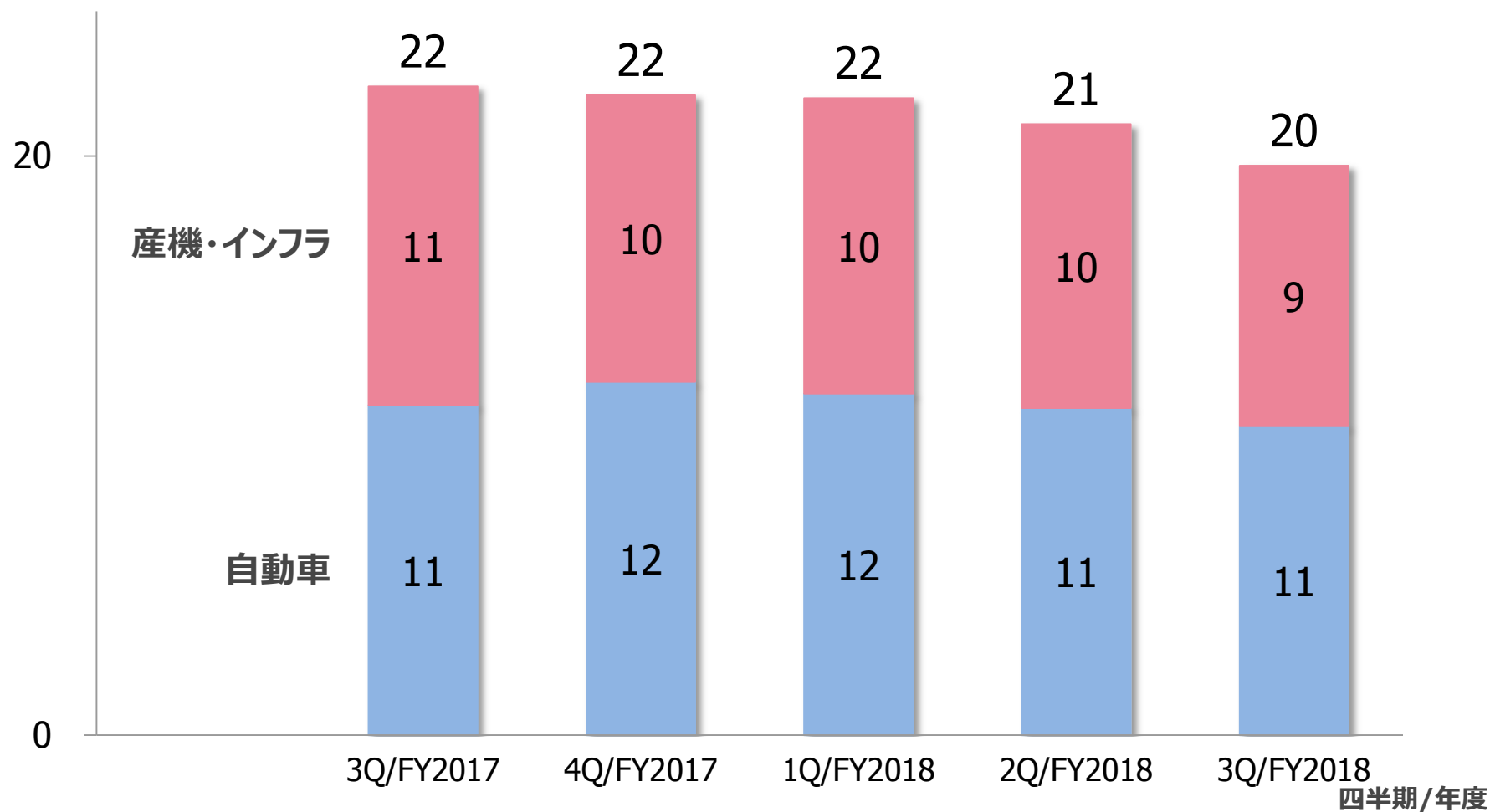
(億円)

市場別売上高

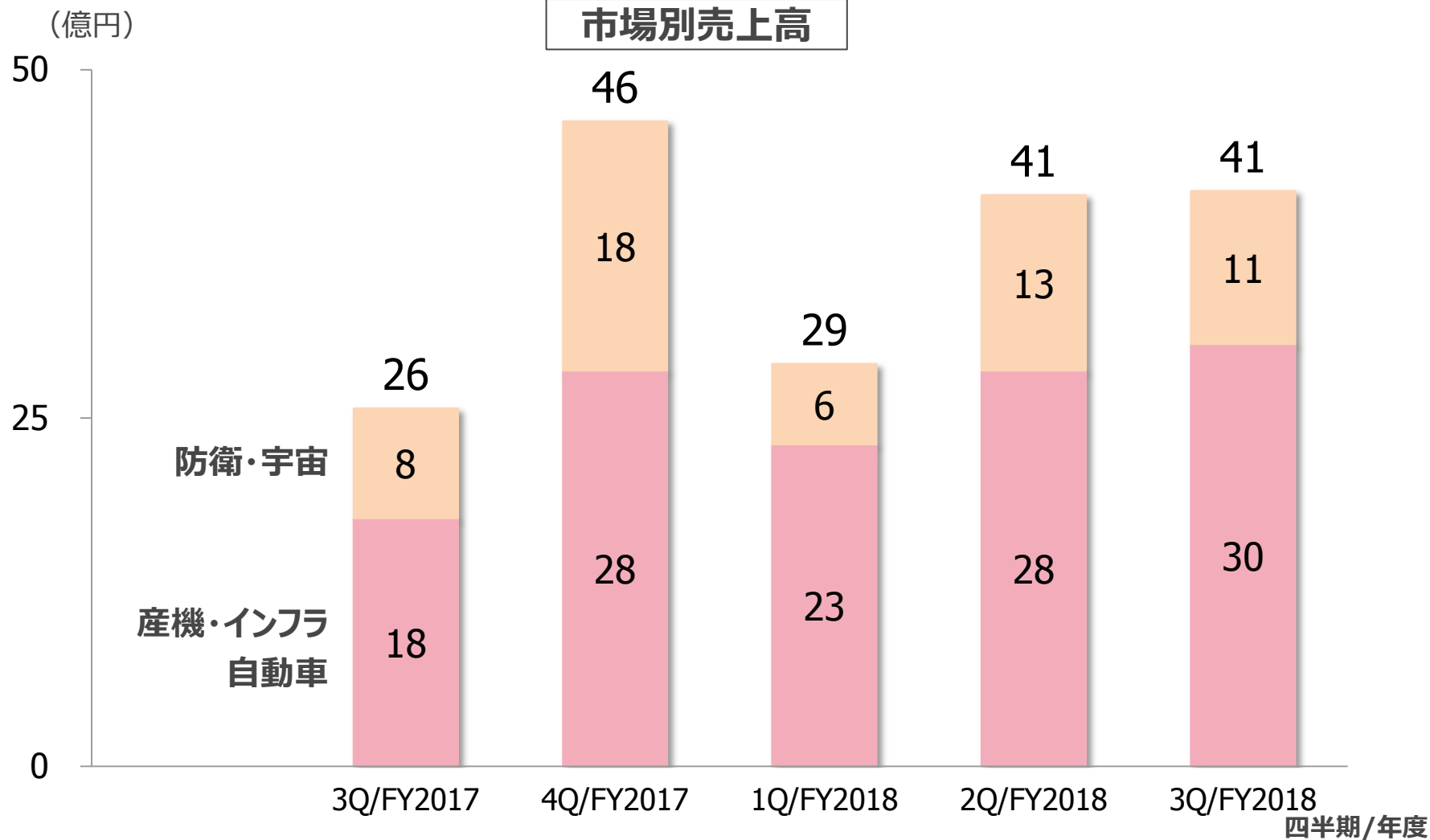


市場別売上高

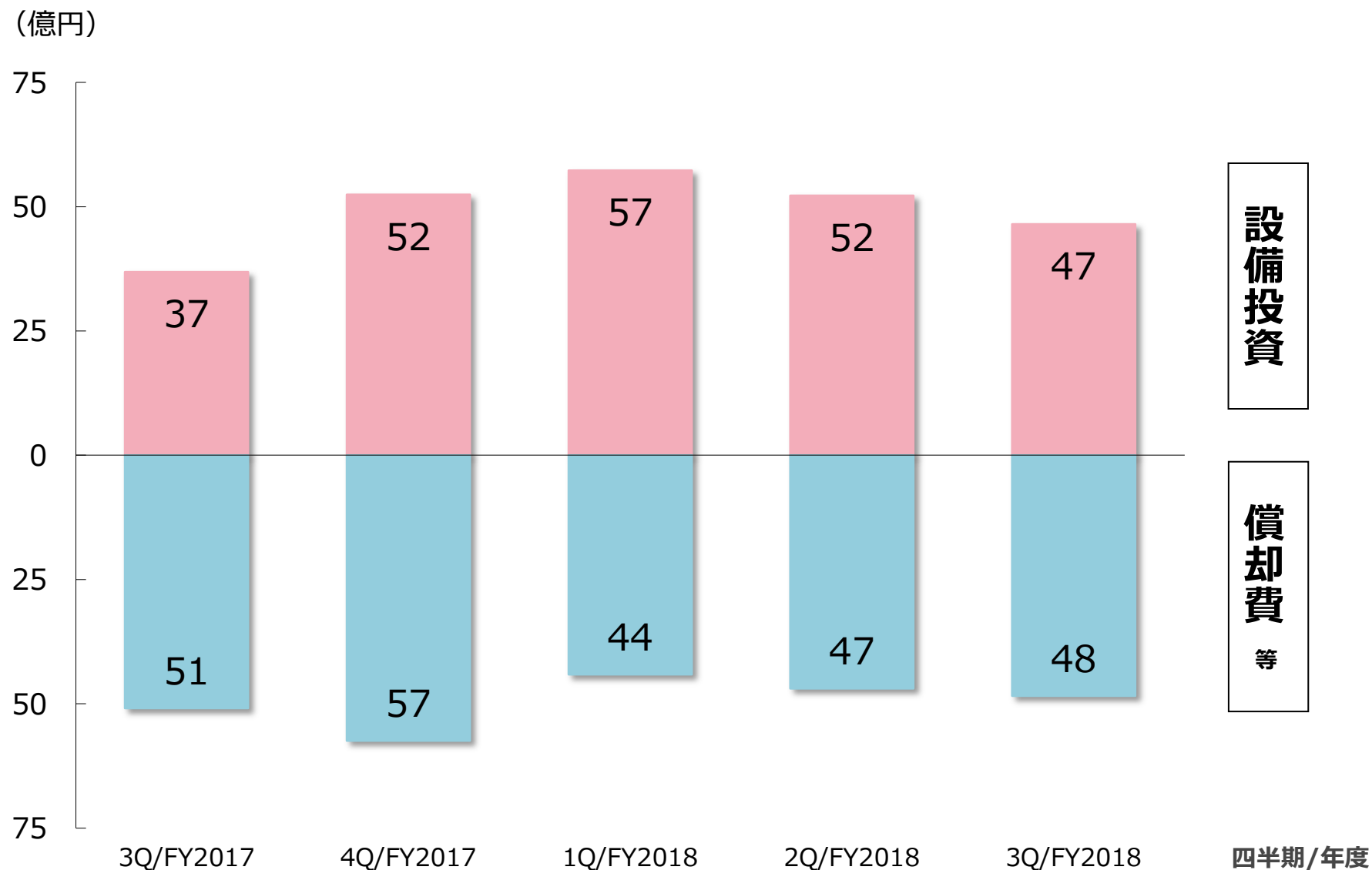
(億円)



市場別売上高



設備投資・償却費



業績見通しの修正について

- ▶ 第3四半期後半から広がる不安定な経済環境の影響を受け、主要市場である携帯機器、産業機器市場において需要の減少が見込まれるため、通期見通しを修正しました

億円	2017年度	2018年度修正予想			対前回予想 増減	2018年 10月予想
	通期実績	通期	対前年			通期
売上高	2,539	2,220	-319	87%	-195	2,415
営業利益 売上高比	206 8.1%	172 7.7%	-34	83%	-20	192 8.0%
経常利益 売上高比	174 6.8%	175 7.9%	1	101%	-21	196 8.1%
純利益 売上高比	129 5.1%	130 5.9%	1	100%	-15	145 6.0%

事業部門別売上見通し

億円	2017年度	2018年度修正予想			対前回予想 増減	2018年 10月予想
	通期実績	通期	対前年			通期
コネクタ	2,316	1,976	-340	85%	-189	2,165
UIS	86	82	-4	95%	-6	88
航機	129	152	23	118%	0	152
その他	9	10	1	117%	0	10
計	2,539	2,220	-319	87%	-195	2,415

億円	2017年度	2018年度修正予想			対前回予想 増減	2018年 10月予想
	通期実績	通期	対前年			通期
携帯機器	1,379	1,046	-333	76%	-133	1,179
自動車	698	736	38	105%	-26	762
産機・インフラ	327	319	-8	97%	-37	356
その他	135	119	-16	88%	1	118
計	2,539	2,220	-319	87%	-195	2,415

Technology to Inspire Innovation



JAE



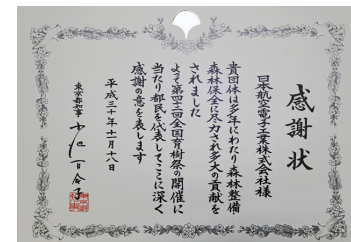
お知らせ

「第42回全国育樹祭」にて東京都緑化等功労者として表彰

当社は、2018年11月17日～18日に東京都で開催された第42回全国育樹祭において、「航空電子グループの森」における森林保全活動によって、東京都緑化等功労者として表彰されました。

当社は2004年の「航空電子グループの森」開設以来、グループ社員による植林や下草刈りなどの森林保全体験による環境意識啓発に加え、生物多様性の保全、温室効果ガス（CO₂）の吸収並びに水源の涵養（かんよう）に貢献してまいりました。こうした活動が評価され、このたび森林整備・森林保全部門において東京都緑化等功労者として表彰されたものです。

今回の表彰を励みに、今後も航空電子グループの環境方針である「社会の一員として、自然環境や生物多様性を尊重し、環境にやさしい事業活動を通して社会的責任を果たすことにより、豊かで持続可能な循環型社会の実現」に貢献してまいります。

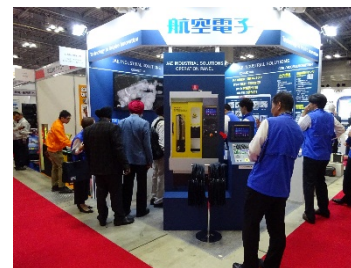


お知らせ

JIMTOF 2018 第29回 日本国際工作機械見本市（東京）、 electronica 2018（独 ミュンヘン）に出展しました

11月1日～6日に東京ビックサイトで開催された「JIMTOF 2018」では、工作機械に最適な操作性・耐環境性に優れた小型・軽量型の各種コネクタをはじめ、高い信頼性の操作パネルや、高密度・高効率なコイルなどを展示しました。

11月13日～16日にドイツ・ミュンヘンにて開催された「electronica 2018」においては、急速充電用コネクタや車載デジタルカメラ向けコネクタ、産機向けコネクタなどを展示し、欧州の自動車、FA市場に向けて訴求しました。



JIMTOF 2018

産業機器向けコネクタ

産業機器向け角形オールプラスチックコネクタ「KN02シリーズ」開発・販売開始

ロボット、自動機、工作機械等向けインターフェースの角型コネクタを開発・販売を開始しました。本製品は、外殻材料をプラスチックとして軽量化を実現するとともに、外殻のプラスチック表面には金属めっきを施し、シールド性能を強化しております。また、インシュレータは組替が可能で、芯数バリエーションを増やすことが可能です。



車載向け多極防水コネクタ

車載用多極防水コネクタ「MX60Aシリーズ」開発

エンジンルーム内で使用可能な車載用防水多極コネクタを開発しました。本製品は、制御用信号が増加し、より多極のコネクタが必要とされるエンジンルームに向けて、最大177極に対応可能です。また、ハーネスカバーを変更することでケーブル引出方向を4方向へ設定可能で、設計の自由度向上に貢献いたします。



車載カメラ向けコネクタ

車載デジタルカメラ向け高速伝送用コネクタ「MX55Jシリーズ」開発

車載デジタルカメラ向け高速伝送用小型コネクタを開発しました。本製品は、映像信号として使用される差動伝送（LVDS）で1.5Gbpsクラス（条件による）に対応、カメラ用リアケースコネクタのサイズは車載カメラ標準サイズである23mm×23mmに設定致しました。また、グランド接続構造によるEMI対策で耐ノイズ性能を確保、単体時も含めた高い防水性能など、車載用コネクタに必要な耐環境性能を実現しております。



<注意事項>

本資料に記載されている当社および連結子会社（以下JAEと総称します）の計画、戦略および業績見通し・目標は2019年1月28日現在の予測・目標であって、リスクや不確定な要素を含んでおります。

本資料に記載されている目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績は、様々な要因により、見通し・目標等と大きく異なる結果となりうることを予めご承知願います。実際の業績等に影響を与える重要な要因としてはJAEの事業領域を取り巻く日本・欧米・アジア等の政治・経済情勢、市場におけるJAE製品（ソフト製品を含む）に対する需要変動、競争激化による価格下落圧力、および競合各社に打ち勝ち供給し続ける能力、海外市場における事業拡大能力、事業活動に関する法規の変更やその不透明さ、潜在的な法的責任、為替レートなどがありますが、これら以外にも様々な要因が有り得ます。世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。

新たなリスクや不確定要因は随時発生することが明らかですが、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因がある為、将来予測に関して記述されている内容が実際には起こらない場合もあります。これらの記述に全面的に依拠することの無きようお願いいたします。

※ 本資料では、原則として金額は億円単位に四捨五入しておりますので、個別数値と合計値・増減額が一致しない場合があります